

様式

年間指導計画表(シラバス)

科目名	歴史総合	単位数	2単位
		学年等	1年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野にたち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1)近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に着ける。</p> <p>(2)近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。</p> <p>(3)よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重する姿勢を深める。</p>
使用教科書 副教材等	<p>『現代の歴史総合 みる・読みとく・考える』 山川出版社</p> <p>『問いからはじまる歴史総合』 とうほう 『歴史総合問題集』 山川出版社</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と日本を相互的な視野から捉え理解している。また、諸資料の情報を適切に調べまとめる技能を身に着けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色、また歴史に見られる課題などを、多面的・多角的に考察し、それらを効果的に説明したり、議論したりしている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象と、それらに関連する現代的諸課題について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	歴史の扉 ①歴史と私たち②歴史と資料 [第I部 近代化と私たち] 第1章 結びつく世界と日本の開国 第2章 国民国家と明治維新 [第II部 大衆化と私たち] 第3章 総力戦と社会運動	・定期考査等	・定期考査等 ・ワークの記述分析	・学習課題等 ・単元シート記述分析
	評価点	200点	200点	200点
後期	第4章 経済危機と第二次世界大戦 [第III部 グローバル化と私たち] 第5章 冷戦と世界経済 第6章 世界秩序の変容と日本	・定期考査等	定期考査等 ・ワークの記述分析	・学習課題等 ・単元シート記述分析
	評価点	200点	200点	200点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	歴史の扉 ①歴史と私たち ②歴史の特質と資料 〔第Ⅰ部 近代化と私たち〕 第1章 結びつく世界と日本の開国 ・近代以前の東アジア・世界と日本のつながり	3	
	5	・産業革命と開国 第2章 国民国家と明治維新 ・市民革命、国民国家とナショナリズム運	15	
	6	・明治維新と日本の産業革命 ・帝国主義と東アジアの国際秩序の変容		
	7	◆-----第1回考査 〔第Ⅱ部 国際秩序の変化や大衆化と私たち〕 第3章 総力戦と社会運動		
	8	・第一次世界大戦とロシア革命 ・国際協調体制とアジアのナショナリズム	12	
	9	・大衆の政治参加と大衆文化		
	後期	10	第4章 経済危機と第二次世界大戦 ・世界恐慌とファシズム・共産主義 ・第二次世界大戦	13
		11	・国際連合と国際経済体制 ・占領と戦後改革 ・冷戦のはじまりと東アジア諸国の動向	
		12	◆-----第3回考査 〔第Ⅲ部 グローバル化と私たち〕 第5章 冷戦と世界経済 ・冷戦下の地域紛争と脱植民地化 ・東西両陣営の動向と1960年代の社会 ・軍拡競争から緊張緩和へ	
1		・日本の高度経済成長とアジアの中の日本 第6章 世界秩序の変容と日本	13	
2		・アジア諸地域の経済発展 ・市場開放と経済の自由化 ・情報技術革命とグローバリゼーション		
3		・地域統合の拡大と変容、地域紛争と国際社会 ・現代と私たち	14	
			◆-----第4回考査	

5 その他

○「歴史＝暗記すること」という認識を脱しましょう。個別の知識は現代の諸問題について考えるための足掛かりです。考えること、表現することが大事です。共有された問いや自ら生み出した問いを大切に、積極的に議論してください。

○歴史の学習によって皆さんの頭の中に最も残したいものは、特定の人物の名前や事象が生じた年代などではありません。歴史上形成された「概念」です。「概念」とは、それを説明する人によって言葉が異なったり、辞書によってさえ表現が異なったりするものの、歴史を学んだ者同士なら共有できる不思議な知的産物です。ゆえに、定義を暗記しても意味がなく、たとえつたない言葉でも、あなた自身の言葉で表現することが大切です。「近代化」「市民革命」「国民国家」「ナショナリズム」「大衆化」「グローバリゼーション」など、複雑な概念を多角的な視点から考察し、自分の言葉で表現できるようになりましょう。またそれらの概念と現代のつながりを見出す姿勢を持ってください。単元シートではそこを評価します。